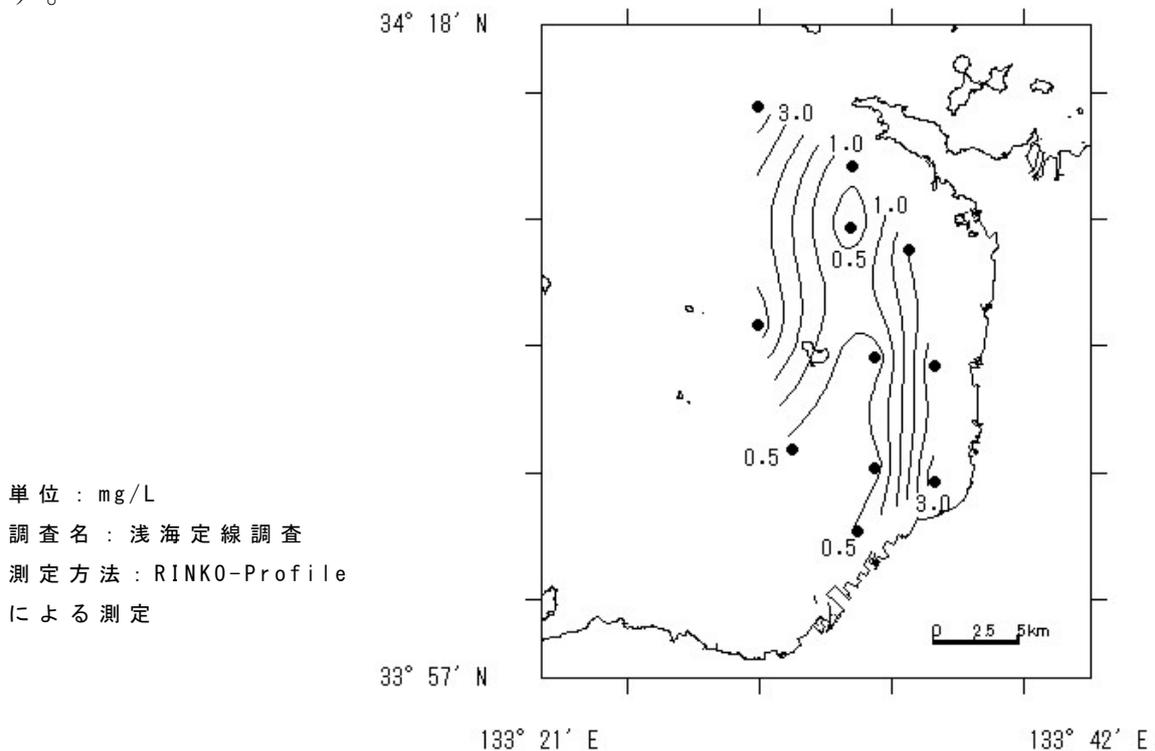


燧灘貧酸素情報（第 5 号）

香川県水産試験場

8 月 31 日観測結果

8 月 31 日現在，燧灘では底層の溶存酸素量が非常に少ない観測点がみられ，底生生物の生息環境が非常に悪化した状態となっています。岸寄りの測点でも前回（8 月 19 日）調査時より悪化している点がある一方，沖合では改善されつつあります。現時点でも表層と底層の水が混ざりやすい密度差になってきており，今後状況は改善されるものと考えられます。



底層の溶存酸素量

溶存酸素量（DO）の目安*

溶存酸素量	生物への影響
4.3mg/L 以下	魚類・甲殻類・底生生物（ベントス）に影響
3.6mg/L 以下	貝類に影響，甲殻類の生存困難
2.9mg/L 以下	底生生物（ベントス）の生存困難
2.2mg/L 以下	底生魚類の生存困難

* 漁場環境容量策定事業報告書（水産資源保護協会 1989）を参考にしています。